全部協「夢と希望」～これからの部品商とは～（その１３）
真の人財育成とは（先ずトップから始めましょう）

全日本自動車部品卸商協同組合
理事長　新戸部　八州男

新戸部理事長

整備業の皆様への広報誌オートモーティブプライムニュースの立ち上げなど、これまでのプライムニュースからの移行があり、しばらく間が空いてしまいましたが、全部協「夢と希望」を再開させていただきます。

自動車業界・アフターマーケットはまさに激動の時代を迎えようとしています。これまでの整備技術があっという間に過去のものになり、自動ブレーキが標準装備されるのも目前になり、自動運転が現実のものになるのも遠い未来の話ではなく、５年先１０年先にはレベル３レベル４も夢ではなくなってきました。

このような変化の時代にもっとも大切なものは人材→人財に他なりません。技術の進歩により、必要な整備機器は目まぐるしく変化します。新しい設備を導入しても、あっという間に陳腐化してしまいます。さらに新しい設備を使いこなすためにはまさに「人財」が必要になってきます。

しかし現実にはなかなか優秀な人材を採用できない、採用しても人が育たない、幹部が新しい技術を習得しようとしないなど、問題が山積みになっています。

人材育成は沙漠に水をまくようなものだ、という人がいます。教育を行っても行っても効果は現れず、お金と時間が砂に吸い込まれるように消えていくような感覚に陥ることもあります。

人材育成には時間がかかります。途中で諦めたらそこで終わりです。諦めることなくそれでも続けることが大切なのです。変化の時代に人材育成を諦めるということは事業の継続を諦めるということと同じことを意味します。

よく自分の会社の社員はダメ社員ばかりとグチる経営者がいます。私の経営の恩師はそんな経営者に次のように怒鳴りつけます。「自分の会社にはダメ社員ばかりしかいないという経営者がいる。そんな経営者はウンコだ。社長がウンコだからハエしか集まってこない。社長がきれいな花ならば蝶やミツバチが集まってくる。」と。

自分が必死になって勉強し会社を良くし、社員さんを幸せにしようと努力している社長の下では、やがて素晴らしい社員さんが育ってきます。しかし自分のことしか考えず、遊びほうけているような社長の下では優秀な社員は育たず、逆に優秀な人財から順番に会社を辞めていくものです。人が育たないのも、優秀な人財が辞めていくのも全て社長がその原因です。

社長・幹部が必死になって経営の勉強、営業力強化の勉強、新しい技術や自動車の構造の勉強、電子診断の勉強、接客接遇の向上の実践などに取り組んでいる姿を見て、初めて現場の社員さんは、自分も学ばなくてはいけないと感じるものなのです。

先ず自分自身から始めることが大切なのです。「率先垂範」という言葉はリーダーにとっての忘れてはいけない言葉です。人材育成においても経営者・幹部が率先垂範することが求められます。

経営者・幹部としてあなたはどれだけ自分を向上させることができるでしょうか？　それこそが人財育成の原点です。

つづく